

平成30年11月16日

山形県山岳遭難対策協議会会員 殿

山形県山岳遭難対策協議会  
会長 若松正俊

平成30年度山形県山岳遭難救助訓練の実施について  
みだし訓練を山形県警察山岳救助隊と合同で実施することとしたので、適任者を選考のうえ参加くださるよう御案内いたします。

記

- 1 訓練目的  
山岳遭難救助活動に必要な知識・技能及び装備資器材の活用要領等について習得するため。
- 2 実施日時  
平成31年2月7日(木)から2月8日(金)までの2日間
- 3 実施場所  
山形県上山市蔵王坊平高原
- 4 訓練日程  
別紙1の1「山岳遭難救助訓練日程」のとおり。
- 5 服装・携行品等  
別紙1の2「個人装備品等一覧表」、別紙1の3「団体装備品一覧表」のとおり。
- 6 参加者  
山形県山岳遭難対策協議会加盟団体(山形県、県内各市町村、県山岳連盟、県スキー連盟、陸上自衛隊第6師団、山形森林管理署、山形地方气象台、東北電力(株)山形支店、蔵王観光開発(株)、庄内交通(株))の救助隊員及びその他関係者
- 7 訓練講師  
日本体育協会公認上級指導員 2名
- 8 宿泊場所  
〒999-3113 上山市蔵王坊平高原  
蔵王ライザウッディロッジ TEL 023-679-2311
- 9 その他
  - (1) 参加経費  
別紙1の4「参加者の経費」のとおり。
  - (2) 参加申し込み  
別紙2の参加申込書に必要事項を記載の上、平成31年1月11日(金)までFAXかメールでお願いします。
  - (3) 集合日時・場所  
平成31年2月7日(木)午前9時45分までに蔵王ライザウッディロッジ2階会議室に集合してください。  
(受付は午前9時30分から開始、午前10時から開講式を開始します。)
  - (4) 保険は参加者が各自で加入してください。

連絡担当 〒990-8577 山形市松波二丁目8番1号  
山形県山岳遭難対策協議会事務局  
(警察本部地域課内) 伊藤  
TEL : 023-626-0110 (内線 3573)  
FAX : 023-630-2939  
MAIL: pitomas@pref.yamagata.jp

別紙 1

1 山岳遭難救助訓練日程

訓練日	内 容	備 考
第 1 日 2月7日(木)	9:30 受付開始 10:00 開講式・座学 ～宿舎研修室 午後 実技訓練～蔵王坊平高原一帯	宿舎 蔵王ライザ・ ウッディロッジ
第 2 日 2月8日(金)	午前 実技訓練～蔵王坊平高原一帯 13:20 検討会・閉講式～宿舎研修室 14:00 解散	

2 個人装備品等一覧表

No.	品 名	数量	No.	品 名	数量
1	冬山用シェルレイヤー	1	26	救急用品	適宜
2	冬山用手袋	1	27	ピッケル (アイスアックス)	1
3	登山靴	1	28	クランポン (アイゼン)	1
4	ロングスパッツ	1	29	輪かんじき	1
5	ニット帽 (ヘルが被れるもの)	1	30	雪崩ビーコン	1
6	山岳ヘルメット※前面にガムテープ貼付の上、名前を記入すること。	1	31	プローブ (ゾンデ棒)	1
			32	シヨベル (スノースコップ)	1
7	ヘッドランプ	1	33	スノーソー (ノコギリ)	1
8	ゴーグル・サングラス	1	34	ハーネス	1
9	バックパック (ザック)	1	35	ランヤード (PAS)	1
10	バックカバー	1	36	ダイニーマスリング (ループ状のもの) 60cm、120cm、180cm	2本ずつ
11	フリース・ダウンジャケット	1			
12	インナー (吸湿速乾性のもの)	1	37	フルジックロープ (7mm×150cmをダブルフィッシャーマンズノットでループ)	2
13	着替え (速乾性、保温性のもの)	適宜			
14	腕時計	1	38	下降器 (エイトカン等)	1
15	笛 (ホイッスル)	1	39	確保器具 (ATCガイド等)	1
16	ナイフ・ナタ	1	40	ロープ登高器 (アッセンダー等)	1セット
17	予備電池	適宜	41	プーリー	2
18	ライター・マッチ等	適宜	42	ロックンギカラビナ	5枚以上
19	非常食	適宜	43	スタンダードカラビナ	5枚以上
20	修理用品	適宜	44	メモ帳	適宜
21	地形図25,000分の1 (訓練場所)	1	45	筆記用具	適宜
22	コンパス (シルバコンパス)	1	46	洗面用具 (タオル等)	適宜
23	アルミシート (エマーゼンシート)	1	47	常備薬・健康保険証	適宜
24	保温水筒	1	48	宿泊代 (10,800円)	
25	プラティパス	1			

注：装備品が無い場合は用意できる範囲で構いませんが、可能な限り揃えてください。

### 3 団体装備品一覧表

	装 備 品 名	数 量
1	セミスタティックロープ (10mm～11mm×50m) ※ セミスタが無ければ、ダイナミックのみでも可。	1本以上
2	ダイナミックロープ (10mm～11mm×50m)	1本
3	10mロープ	3本以上
4	土 嚢 袋	1袋以上
5	スノーバー	3本以上
6	ロックハンマー (ハンマーホルスター付き)	1本以上
7	背負い搬送用具 (レスキューキャリングラック等)	1台
8	セルフロックングデバイス (ハッセル・アディ、アンスロン・ローラー、エーデルリット・エディ等)	1台以上
9	リギングプレート	1枚以上
10	スケッドストレッチャー	1台
11	ブルーシート (3.6m×3.6m)	1枚
12	エアマット	1枚
13	G P S	1台以上

注：上記装備品を保有している団体は用意してください。

### 4 参加者の経費

項 目	金 額	備 考
宿泊代 (食事込み) (税込み)	¥10,800	宿泊料金 + 食費 (食費～初日昼食・夕食、2日目朝食・昼食)

注：参加者の経費は、受付時に納めて下さい。

# 参加申込書

申込担当者：  
連絡先：

所属(団体)名			
氏名		血液型	型
生年月日	昭和・平成	年	月 日( 歳)
住所			
職業(勤務先)			
連絡先	自宅	携帯	
緊急時の連絡先	氏名：	続柄：	電話番号：

質問に対して該当する箇所に「○」等を記入してください。

質 問	回 答 欄			
年間の登山日数(山岳訓練等も含む)はどの位ですか？	夏季	日	冬季	日
担当する山岳エリアはどこですか？(例:朝日連峰、鳥海山)				
ロープワークのレベルを自己評価してください。 (ロープ結束、フィックスロープ工作、システム構築等)	自信がない・普通・自信がある			
アバランチビーコン(使用)、プロービング、ショベルング要領	自信がない・普通・自信がある			
雪洞構築	自信がない・普通・自信がある			
山岳救助に携わっている年数、通算の出動回数について(1事案を1回としてカウントしてください。)	年 数	年 位		
	通 算	回 位		

山岳救助に関する研修会、講習会、救助訓練参加歴	有	当訓練	回	平成 年、平成 年	
		他の団体・組織等主催	平成 年度	研修会・講習会	
			平成 年度	研修会・講習会	
無					

当訓練における班の希望  
※希望する班に「○」を付けてください。

A班	上級
B班	中級

※人数の都合により希望に添えない場合がありますので

C班 初級

ル'はい'物'ロ'ガ'め'フ'ヨ'ソ'シ'シ  
了'承'く'だ'さ'い'。